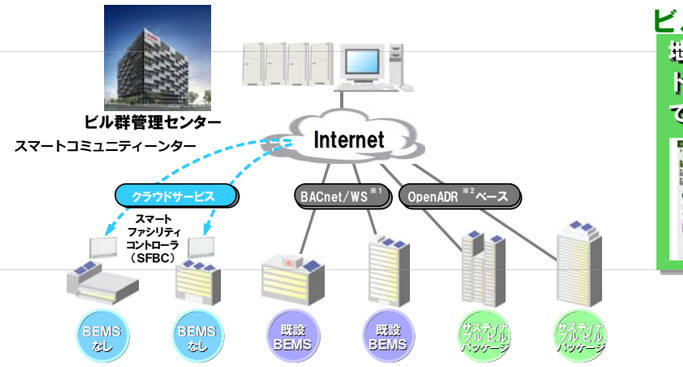
川崎市と株式会社東芝とのスマートコミュニティの実現に向けた連携・協力について

エネルギーの効率的な利用

■エネルギーソリューション：統合BEMSサービス

- ➢エネルギーの高密度消費を伴う川崎駅周辺地区において実証事業として今秋導入
- ➢ビル群、地域のエネルギー管理をスマート化し、既成市街地におけるスマートコミュニティを実現



※1：ビル監視用制御プロトコルの業界標準である　BACnetをWebサービス化。（ BACnetは米国冷暖房空調協会の米国およびその他の国における商標または登録商標。）
※2：自動デマンドレスポンスの米国標準規格。

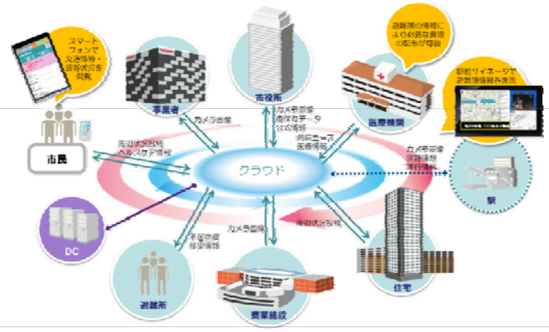
ビル群エネルギー見える化

地域、ビル、フロア、テナント別の消費エネルギーを階層で可視化。

安全・安心の確保

■防災情報提供ソリューション

- ➢大規模災害時において市民等の安全を確保するため、新たな防災情報提供ソリューションの構築に向けた取組を、関係者間で連携を図りながら推進



■EVバス導入検討

- ➢災害時における非常用電源の確保と情報発信機能の強化に資するEVバスの導入検討

市民生活等の利便性向上・健康増進

■商業活性化ソリューション

- ➢川崎駅周辺商店街をICTでつなぎ、情報を配信
- ➢生活スタイルや嗜好に合った店舗／商品／サービスをプロファイル等から推定してリコメンド、スマートフォンを用いたリアルショッピングでの買い物をガイド

■ヘルスケアソリューション

- ➢食の安全・安心の確保、公衆衛生の向上に役立つDNAチップなど、市民生活に広く貢献する高度なヘルスケアソリューションの開発・実用化を推進

■DNAチップ:市健康安全研究所と共同開発中

■全行程２時間以内で、食中毒原因菌15菌種を一括検出
- ●腸管出血性大腸菌　●赤痢菌
- ●カンピロバクター　●腸炎ビブリオ
- ●サルモネラ　●黄色ブドウ球菌　等

その他スマートコミュニティの構築

■学習・文化交流

- ➢「東芝未来科学館」と「かわさきエコ暮らし未来館」など、科学・産業系博物館等との連携により、次世代を担う子供たちへ、エネルギー、科学、環境など、先端技術を体験的に学べる場を創出

かわさきエコ暮らし未来館

連携

スマートコミュニティーセンター

東芝未来科学館